

## 議員派遣報告 民主クラブ

## 第3回定例会

あかびら市議会

# かわら版

No. 77

第3回定例会は、9月2日から12日までの11日間の日程で開催され、令和7年度各会計補正予算案のほか、条例改正案などの議案17件、令和6年度各会計決算認定9件、意見書案1件を審議しました。審議の結果、全ての議案が全会一致で可決・認定・同意となりました。その他、令和6年度決算に基づく赤平市健全化判断比率の報告について等、2件の報告がありました。

一般質問は、4日に4名、5日に2名が行いました。

※内容は2ページ以降に抜粋を掲載しています。

全国市議会議長会研究フォーラムin札幌 (令和7年8月27～28日)

民主クラブは議員派遣として全国市議会議長会研究フォーラムに参加しました。

1日目は伊吹文明「元衆議院議員による基調講演があった。「主権を預かる誇りと責任」では「制度機能させるのは人間の謙虚さと責任感」という言葉が強く印象に残った。また、政治家と市民の信頼関係を築く誠実さの大切さを再確認した。

2日目は「地方議員のなり手不足問題の取り組み報告」があり「議会の見える化」「広報活動の充実」「魅力ある報酬」等、地方議会が直面する課題の大きさと、それに応えるための意識改革の必要性を改めて実感するとともに、人数だけの問題ではなく有能な人材が議員を目指す環境づくりの必要性を感じさせられた。



## 議会報告と意見交換会のお知らせ

今年度の議会報告と意見交換会は次の日程で行います。

◇11月11日(火) 18時～交流センターみらい4階

◇11月13日(木) 18時～東公民館

開催内容は両日ともに

- ・第1部 第3回定例会の報告
- ・第2部 カフェ方式の意見交換会

たくさんの市民の皆様のお越しを

議員一同お持ちしております。



# 一般質問

## 新政クラブ



安藤 繁

商業の振興について

【質問】赤平駅前周辺や茂尻中心部の現状の認識と再開発について商工会議所等との連携や駅前の空き店舗について伺う。

【答弁】駅前の魅力や生活の利便性の低下となり、地域経済への危機感を持っている。空き店舗は賃貸物件として活用予定との説明を受けた。

今後、商工会議所等と連携し持続可能な取組みを進める。

【質問】再開発に「地域力創造アドバイザー制度」を活用しては如何か。

【答弁】「地域力創造アドバイザー制度」の活用を含め、様々な方策を研究する。

熊の出没と具体的な対応策について

【質問】「改正鳥獣保護管理法」が9月1日施行されたが、具体的対応策

を伺う。

【答弁】今後の説明会や実施訓練等に出席するとともに、様々なケースの対応方法を赤歌署や猟友会と意見交換を行う。

【質問】ドローンや位置情報共有システムの活用についての考えを伺う。

【答弁】熊が山中に逃げ込んだ際の確認やハンター同士の事故の未然防止に有効であり猟友会とも協議を行う。

環境衛生について

【質問】合同墓は、利用が多く増築を検討すべきと思うが如何か。

【答弁】想定以上に利用があり、年度内に千体を超えると思料している。近隣市で設置を検討中の所もあり、状況を見極め方針を決める。

【質問】昨年、再生アスファルトを敷いてもらったが劣化してきている。車椅子での墓参者等が、安心してお参りが出来る様に合同墓付近を舗装しては如何か伺う。

【答弁】駐車場の通路の傾斜もきつくなき大きな段差もないが、指摘を踏まえ、今後研究する。

水道事業の今後の運営について

【質問】赤平市単独と広域加入で事業をした場合、それぞれの水道料金がいくらになるのかは、市民にとつては大きな問題である。考えを伺う。

【答弁】広域の場合の水道料金は、広域の今後の施設整備や更新費用の詳細な試算が必要であり、本市独自では算定出来ない。広域から水を購入する場合と単独の場合の費用を赤平市で独自に試算し、単独の方が市民負担が安いとの結果であり、水道料金の試算をするまでもなく単独での更新が適切であると判断した。

## 参政党



今野 宙

水道の水質について

【質問】近年PFAS等の水質問題が報道されている。健康に影響がでる可能性も指摘されていることから国も調査に動きだしている。赤平市にお

いても調査を行っていると思うが、その調査結果、内容について伺う。

【答弁】令和6年度検査の結果では、いずれの項目も検出されていない。

【質問】今後の対応について伺う。

【答弁】国の改正を踏まえ、令和8年度から、年4回の検査を追加し、水質の変動を的確に把握していく。異常の早期発見に努め、引き続き、安全な水の安定供給を確実に、水質管理に取り組んでいく。

地域おこし協力隊について

【質問】本年度より新たに2名の採用があったが、活動状況について伺う。

【答弁】隊員の提案を受け、管内では2例目となる、自治体公式noteを開設。すでに記事を11本掲載。公式インスタグラムやフェイスブックでの情報発信に加え、赤平市内でのレンタサイクル事業も進めている。

友好都市加賀市について

【質問】今年は何周年というキッカケもあり、20年ぶりの自治体交流再開

となった。今回の交流再開を期に、今後はどういった交流や関わりをしていく考えなのか、市長の考えを伺う。

【答弁】来年度以降は文化、教育、産業など様々な分野で交流を図っていききたい。未来への友好の絆をつないでいくためには、これからの世代への継承が必要であると感じた。交流事業を通じて、両市の発展と、これからも友好を深めていけるよう一層努力していく。

市民踊り火囃子について

【質問】本年度、火囃子が全国大会参加となった。今回の機会も踏まえ、今後の官民での協力や支援体制などについて、市長の考えを伺う。

【答弁】赤平市の伝統ある市民踊り火囃子は、火囃子保存会の皆様が地域のために世代を越えて指導しながら、火まつりを盛り上げていただいている事に感謝している。今後も市民の皆様とともに、火囃子を赤平市の誇る文化資源として次世代に引き継いでいけるよう努めていく。

# 公明党



丸山 勝正

地域おこし協力隊について

【質問】2名に早く地域に溶け込んでいただくため地域交流の場を作っているのか伺う。

【答弁】業務の流れがおおむね整ったので市内のイベントや地域の集まりへ参加する機会を増やしていく予定。

【質問】来年度は地域おこし協力隊の制度を活用し将来的に赤平で飲食店を出店してもらえそうな人材募集を検討しているのか伺う。

【答弁】最長3年という限られた期間内に事業を軌道に乗せる必要があり、市には受け入れ体制を整え活動をサポートする責任がある。来年度の募集内容を検討してまいりたい。

赤平市コミュニティ広場について

【質問】赤平市コミュニティ広場の成り立ち現在の管理状況について伺う。

【答弁】建設課が所管し都市公園と同様に維持管理、道道に面した市有地については普通財産として財政課が所管し管理している。

【質問】火まつりのメイソン会場であり、まちの活性化につながるイベント会場として隣接する市有地の整備について伺う。

【答弁】天候によつては利用者に快適とは言えない環境であると認識。舗装化も含めた整備について検討した経緯はある。財政状況を慎重に見極めながら検討してまいりたい。

まちのPRについて

【質問】ふるさと納税新商品『赤平市の備蓄買い置き収納セット』のPR等について伺う。

【答弁】赤平市産ゆめぴりか、エースラゲージの強化段ボール、エリエールの日用品など赤平市の魅力を集めたセットで各ポータルサイトや公式HP、雑誌などでPR

を図る。

【質問】植村建設㈱はICTを活用し日本建設機械施工大賞地域部門賞で最優秀賞を受賞。大いにPRすべきでは。市長の考えを伺う。

【答弁】先進的な重機の遠隔操縦システムを導入し普及促進の取組での受賞は素晴らしい功績。広報誌やSNSでPRしてまいりたい。

## 新政クラブ



渡部 修之

赤平の将来像について

【質問】令和5年の第3回定例会で、将来の赤平についての質問に対し、住民の豊かさを求めることこそ行政の役割であるとの答弁でした。市長が思う住民の豊かさとは、

まず、安定した仕事や暮らしを支える経済的な豊かさと言うことのようにですが、企業移転や閉鎖が続く赤平市の状況で、安定した仕事や暮らしを支

える経済的な豊かさを求めることは、非常に厳しいと思うが、具体的な対応策はあるのかを伺う。

【答弁】赤平市しごと・ひと・まち総合戦略では、令和7年度から11年度までに地元新規雇用者数750人を数値目標とし、移住定住促進就職祝金や起業支援事業補助金、店舗整備魅力向上助成金などの他に設備投資や新規雇用への助成にも取り組んでいる。

赤平駅前の再開発について

【質問】北洋銀行やブロンドイの閉鎖に加え、カメラ店、飲食店の閉店と駅前前の商業店舗が減少しており、市からの様々な助成金や補助金だけでは、駅前商店街の衰退は止まらず、商工会議所からの要望書も提出されている中で、市として何らかの動きはしているのかを伺う。

【答弁】昨年1月に商店街実態調査を実施し、その結果を踏まえ、今後の課題を商工会議所と共有して、今月に事業承継個

別相談会を実施する。

安全・安心で快適に暮らせるまちについて

【質問】最近の赤平市は窃盗事件や粗暴事件が増えており、まだ未解決の事件もあります。市内の防犯カメラを行政だけが増やすのではなく、民間団体や企業・個人が防犯カメラを設置しやすくなるために、設置に対しての助成制度を創設して官民一体となった防犯体制が必要だと思うが、市長の考えを伺う。

【答弁】防犯協会との協議も踏まえ、防犯カメラ設置に対する助成制度の創設に向けて検討しているところであり、今後とも市民が安全・安心で快適に暮らせるよう、努めていく。



## 無所属クラブ



木村 恵

インフラの広域連携について

【質問】水道事業に関して市長は、広域との協議は不要と判断したそうだが、誰が何を言っても加入は現実的ではないという理由で、選択肢として排除したのか。市長の認識を伺う。

【答弁】私が一方的に広域加入を排除したということではない。これまで協議の中で広域からも非常に難しいとの見解が出されている。決して市長の独断や一方的な排除ではなく、広域側の見解、市としての検討を踏まえ、判断であることをご理解いただきたい。

【質問】私は、独断とか、一方的だと指摘してはいない。近隣首长同士たがいに敬意を持って良好な関係を築いて広域事業を進めていくと述べられていたが、水道事業に関して

いえば新聞報道されるまで企業長を訪問していいのではないか。これが敬意を持って良好な関係を築こうという行為か。考えを伺う。

【答弁】決して努力や対話を放棄したのではなく、行政手続きとして議会制民主主義に基づく正当な手続きを尊重した結果。相手の心で考えると、報道を通じて初めて知ることというのは違和感を感じるかもしれない。

【質問】違和感イコール不快感になる可能性があるということ。議会を通り越して結論を言うために訪問してほしいとは誰も言っていない。報道が先になつてしまい申し訳ないというような関係ではないか。市長の考えを伺う。

【答弁】話すときは結論を持って行くべき問題ではない。私は法的には間違っていないと確信している。

【質問】法的に問題があるとは言っていない。姿勢、感情の問題だと思ふ。国は、水道事業に関して経営広域化の国主導による加速化などを検討し

ている。単独とここで決めてしまうことが本来に将来の負担減に間違いなのか考えを伺う。

【答弁】絶対とは言いつれないが今の時点では最適な判断だと考えている。

## 新政クラブ



竹村 恵一

防災体制の充実

【質問】この夏、市は、「クーリングシエルト」を開放し、市内に広報車で放送をしていたが、移動手段が無い高齢者や障がい者はどの様に行けば良いのか。考えを伺う。

【答弁】現時点で市として個別の移動支援は対応していない。今後はご指摘の事を踏まえ、研究していく。

【質問】市内にある避難所にも夏場の被災時の暑さをしのげる環境整備も必要だと思うが考えを伺う。

【答弁】重要な課題の一つと認識はしているが、全ての避難所に冷房設備を整備する事は多大な経費を要するし、災害時に停電になる可能性もある為、使用出来なくなる現実的な課題もある。熱中症対策の観点からも今後研究していく。

スポーツ・レクリエーションの振興

【質問】トレーニング機器設置について、私も含め、過去3人の議員が質問している。以前からスペースやコストの面から「非常に難しい」と言われているが、体力向上・健康増進、スポーツをやっている方々に必要だと思う。設置について考えを伺う。

【答弁】安全面やランニングコストを考えると総合体育館と考えるが、スペースを確保するのが困難。体力向上・健康増進は各スポーツ施設を最大

限に活用し、体力づくりイベントやスポーツ教室、各種大会を開催し、スポーツに触れ合う機会の拡充やスポーツの楽しさを周知する努力をしていく。

【再質問】設置の希望を望むスポーツ活動をしている方々、特に若年層やスポーツ協会加入の方々は多いと思う。ぜひ、アンケートを取って市民の声を聞いて欲しいと思うが、考えを伺う。

【答弁】市民の関心の高さは認識している。設置は難しいものと考えているが、令和8年度に隔年で行う市民アンケート調査を予定しているので、ご提案も含め検討したいと思う。



### 第32回中空知ふるさと市町村圏議員交流会

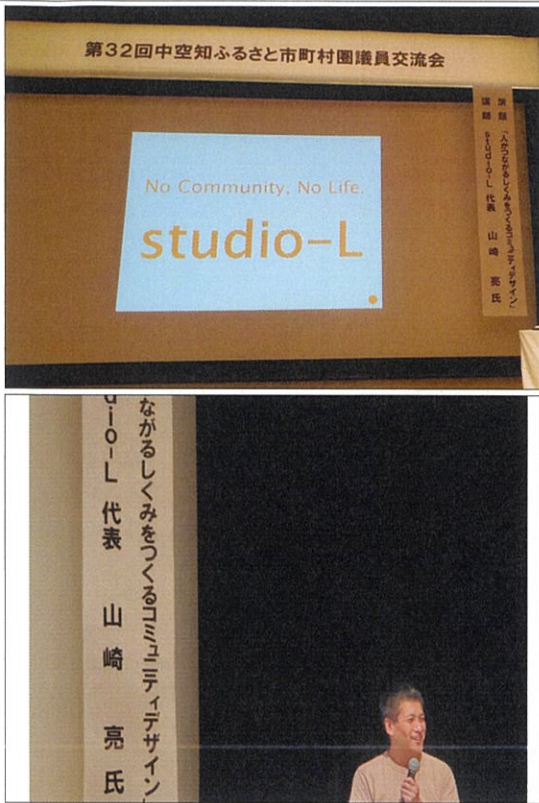
studio-L代表 山崎 亮氏

7月23日(水) 新十津川(ゆめりあ)

島根県海士町や北海道沼田町をはじめ、各地域の事例を参考に講演いただきました。

各地域を周りながら行っている事として、定期的なイベントやプログラムを通して地域で人が繋がる仕組みを、ワークショップ等で作っていき、市民の活動拠点を作る事が大切であり、行政、民間、住民それぞれが、今後の地域の有り方を共に考え、共に進めていく事が大切。

理事者側の考えだけではなく、利用者、従事者等、現場の住民の意見をしっかりと取り入れた政策、設計がこれからは必要であり、今までの当たり前から、新たな方法や気付き、やり方を考え「市民の気運が上がればやる」ではなく、一人一人が知恵を出し合い、将来を考える事が地域の活性化に繋がっていくとお話を伺いました。  
赤平市でもこういった事を取り入れていけば地域の課題解決、活性化に繋がるものと考えています。



### 令和7年度北海道市議会議長会

道央支部協議会議員研修会

株式会社札幌ドーム代表 阿部 晃士氏

8月19日(火) 交流センターみらい

今回の講演内容は「グローバルな空知を目指して」人口減少問題は北海道全体においても、赤平市においても非常に重大な課題となっている。日本の人口は年々減っているが、世界の人口は増え続けている。こういった課題も含めて解決していくために、北海道、そして空知の強み、可能性を最大限生かしていく事が大切になってくる。現代社会において、グローバルな視点での政策も考えながら、外国人との共存も必要となってきます。外国人も含め、誰もがわかりやすい町のキャッチコピーといった視点から、世界水準の新たなキャッチコピーを各地域で新たに考案するのも良いかもしれません。野球とサッカーを両立転換できるのは世界唯一札幌ドームだけであり、その他様々なイベントを行っているようです。先代の方々の思いをもう一度原点に戻って今の我々が発展させていき、各町との連携を強めていきながら、空知、北海道全体が良くなるようにしていく事が大切になってくるのではないのでしょうか。「試される大地北海道」から「求められる大地北海道」に。



### ♡ハニーフラッシュ炸裂♡

第19回赤平市赤い羽根共同募金チャリティー

8月30日(土) 交流センターみらい4階

今年は議員3名(今野・渡部・丸山)が代表して参加。

往年のアニメソング「キューティーハニー(唄/前川陽子)」を、おそろいのTシャツを着て爽やかに？歌い上げました。

沢山のご声援ありがとうございました。



# 議会の動き

- 8 / 19 北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会（歌志内市）
- 8 / 28 議会運営委員会
- 8 / 29 赤平市・加賀市友好都市協定締結30周年記念式典（加賀市）
- 9 / 2 赤平市議会第3回定例会（～12日まで）
  - ” 議会運営委員会
  - ” 決算審査特別委員会（正副委員長互選）
- 9 / 3 行政常任委員会
  - ・議案第190号 赤平市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について
  - ・議案第191号 赤平市議会議員及び赤平市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
  - ・議案第192号 職員の勤務時間及び休暇に関する条例の一部改正について
  - ・議案第193号 赤平市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
  - ・議案第194号 赤平市税条例の一部改正について
  - ・議案第195号 赤平市手数料徴収条例の一部改正について
  - ・議案第196号 赤平市太陽光発電施設の設置等に関する条例の制定について

- ・議案第197号 赤平市水道条例の一部改正について
- ・議案第198号 赤平市下水道条例の一部改正について
- ・水道事業の今後に関する比較検討結果について
- ・赤平市寿の家若木町老人クラブの指定管理者解除について
- 9 / 8 決算審査特別委員会（～10日まで）
  - ・令和6年度赤平市一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、用地取得、介護サービス事業、介護保険特別会計、水道事業、病院事業、下水道事業会計決算について
- 10 / 7 北海道市議会議長会道央支部協議会（砂川市）
- 10 / 27 第19回地域医療政策セミナー（東京都）



## ◎意見書1件可決

※国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

※各議案に対する賛否は赤平市議会ホームページに掲載されています

## 編集後記

今年の夏も昨年以上の猛暑に見舞われ、皆様、熱中症対策は如何だったでしょうか。

政治空白を経て新内閣発足。物価高に苦しむ国民への施策・施政は？与野党とも国民としっかり向き合い要望に基づき実施すべき。

第3回定例会では決算委員会も開催。現在の少数者への配慮的業務についても予算を見直し、今後その財源は適正・公平に分配されるべきとの議論がなされた。

今後も進む人口減少・少子高齢化のもと、当市の将来への財政事情を考慮したとき止むを得ない意見なのかも。

市議会の真剣な議論は当市活性化のため大切です。新人議員も意欲的に活動しており、市議会への傍聴・議会報告会への参加をお待ちしています。

またもやコロナ禍が広まっており、「ウガイ・手洗い・マスク着用」で健康にご留意ください。

かわら版編集委員会

委員長

今野

渡部

若山

木村

丸山

修之

武信

勝正

恵

山

（若山）

※このかわら版に関するお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858までお願いいたします。